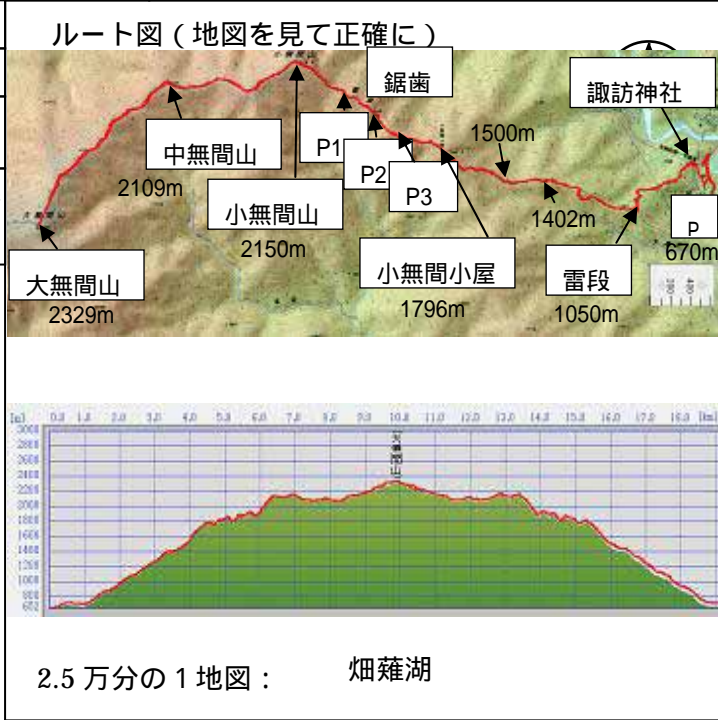


06月度例会 山行報告書		報告者	神戸和広	参加メンバー	CL: 神戸 和広
個人		報告日	07/11		
山域	南アルプス深南部	山行日	12年 06月 30日(土)		
山名	大無間山				

山行目的	新人トレーニング	コースタイム(天候: 天気図記号)
------	----------	-------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



06/29 曇り時々雨
22:30 井川湖畔着
06/30 曇り
4:00 駐車場スタート(てしゃまんくの里)(670m)
4:30 登山口 諏訪神社
5:05 雷段(1050m)一本
6:05 (1500m) 一本
7:10 小無間小屋 P3 間(1790m)一本
7:25P3, 7:40P2, 8:00P1
8:20 ガレ場通過後一本
9:00 小無間山(2150m)
9:40 中無間山(2109m)一本
10:40 大無間山頂上(2329m) 一本

11:35 中無間山
12:15 小無間山 一本
13:00 P1
13:15 P2 一本(雨具)
13:45 P3
14:15 小無間小屋
14:40 1402p 一本
15:40 駐車場着

大無間山頂上

山行報告 前夜に駐車場に着くと軽が2台。他県ナンバーはいない。翌朝登山口の諏訪神社に向かったが薬師堂だったのでそのまま進むとトンネルに。集落に戻って再出発だ。登山届を書いてスタート。杉林の中、高度を上げていく。鹿害予防のテープが木に巻いてある。雷段という場所から主稜線となり、一度急登を巻くが、再び尾根に戻ると右(北)が広葉樹、左(南)が植林帯でなんだか鈴鹿の雰囲気だ。だんだん高度を上げていくと、林床にコイワカガミの葉が目立つようになり、針葉樹もコメツガと思われる木が増えてきた。3時間で小屋のあるピークにたどり着く。7,8人は泊まれそうだが、水場はなく、雨水がわずかにためてあるだけだ。通常はここで泊まる2日行程だ。ここからピークが繰り返されガレ場の通過もある所と事前に調べていた。小無間山手前のガレはちょっと危険だと感じたので写真を載せておく。近い将来は梯子か鎖がないと通れなくなるかも知れない。小無間山から大無間山の間はなだらかで、歩きやすくペースが上がった。ガスがかかっているととても良い雰囲気だった。花は期待していなかったがコイワカガミの群生が収穫であった。時に倒木を避けると踏み跡が一気に薄くなるので度々振り向いたりして道を確認したが数回間違えた。また2重稜線もあり地形マニア受けするかもと思った。頂上の手前の南アルプスを望める展望台からは隣の大根沢山しか見えなかった。大無間山頂は展望が無いが、意外と広がった。帰りは誰にも会わないと思っていたら、小屋ピークを過ぎて小屋泊まりのパーティ2組に出会った。



確認(リーダー)
神戸 12/07/01
作成(報告者)
神戸 12/07/01

リーダー所見 新人トレーニングに南アの深南部は無かるうと思うが、体力をつけるのにちょうどいい場所と時期と思い選んだ。ガレ場の崩壊が思いの外進んでいた。先々週私が登山者に言った「事前調査してから山に来て下さい。」は自分自身に対して戒める言葉になった。

ガレ場の様子